

第31回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：小児脳腫瘍の病態と分子診断

2021年

9月22日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：市村 幸一先生

(順天堂大学大学院医学研究科脳疾患連携分野研究講座 特任教授)

座長：岡崎康司(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：新井正美(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：脳腫瘍は小児がんの約20%を占め、小児固形がんの中では最も頻度が高い、難治性の疾患です。小児脳腫瘍には極めて多数の腫瘍型があり、それぞれに特徴的な遺伝子プロファイルが見られます。最新のWHO脳腫瘍分類においては診断名に遺伝子型が付記されるようになり、もはや病理診断のみで小児脳腫瘍の正確な診断を行うことは不可能になりました。今後は、病理・分子所見を合わせた統合診断に基づき、適切な治療が選択されるようになることが予想されますが、困難な症例の診断に重要な役割を担うのがDNAメチル化プロファイルに基づく分子分類です。本講演では、小児脳腫瘍の概要をご紹介し、分子診断の現状と展望、メチル化分類の有用性についてお話させていただきたいと思っております。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/mrKpHVZBG8gBiJGe9>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

9月21日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

